

週間聖書勉強の学び

＜「箴言」が示す知恵＞

高大韓 伝道師

箴言の目的は1章1-7節にあります。

賢く、公正に、正義に、正直な価値のある生活を生きるための主の御言葉です。

一般的に、この世の中で言う知恵という意味は、物事の道理を判断し処理する心の働き。物事の筋道を立て、計画し、正しく処理する能力をいいます。

しかし、聖書で言う知恵は主を恐れることから始めなさいと言います。(箴言1:7)

箴言は大きく3つの構造に分かれます(1:8-9:18、10:1-22:16、22:17-31:31)

第一(1:8-9:18)は、神様の声(知恵)による導きを私たちに教えています。知恵による有益さを教え、一方で愚かさによって伴うリスクについて話しています。

第二(10:1-22:16)は、ソロモンの箴言と様々な人が書いた箴言集であります。

第三(22:17-31:31)も、様々な人の箴言で構成されています。知恵のある者(22:17-24:34)、アグル(30章)、レムエル(31:1-9)、ヒゼキヤ箴言、またソロモンの箴言(25:1-29:27)となっています。

箴言は、「凝縮された人性の経験」というほど長い時間に渡り集積された真理の御言葉です。

箴言を読むとき、イエス様であれば、どのように考え行動したのか?という質問と一緒に黙想することをお勧めします。

箴言を一度にすべてを理解しようとするよりも、一節一節吟味しながら読むことが有益です。

私たちは箴言を読むたびイエスの姿を発見し、私たちも、その中で公正に、正義に、正直に生きるを学ぶことができます。そのような神様から与えられる知恵が豊かにありますようにお祈りします。

★＜証し＞

-沈多慧-

こんにちは。私は沈多慧執事です。

最近 私はメディア中毒になりました。動画を見ては 喜び、他の人の様子を見て 代理の満足をし、その中で慰めを 得ようとしていたようです。自分自身の問題をわかっていたので、決心さえすれば十分に自分自身の日常に戻ってくることができると 深刻に考えないでいましたが、すでに心を奪われていて すぐに戻ってくるのはたやすいことではありませんでした。もう一度神様のもとに帰ることが

できる道を求めて祈るようになり、そうする中で周囲の人たちと私の話もするようになり、その方々のとりなしの祈りのおかげか、もっと力を尽くして神様を見上げる決心をすることができました。ふり返ると、私を私よりももっとよくご存じの神様は 私の不足も必要も知っていらっしやるということに、自分で解決できるだろうという 傲慢な心のうちに悟らせてくださり、また人もそばに置いてくださり、私の問題を告白させ 回復のために祈ってくれたということに気づき、涙とともに悔い改めました。そして 感謝の生活へと回復させてくださいました。

私たちが生きていくときには、いつも 大小の困難がやってくるようです。あらゆる状況と境遇の中で、私の義によって、信念によって、自分自身の利益のために選択しながら生きていくのも 簡単なことでしょう。人生において主人だった私を下に置き 主にひれ伏し、苦しい心のうち、状況のうちに、ともにいてくださる神様を待ち望み祈る 私と京都教会の信徒のみなさまとなりますよう 願います。また 喜んで聞いてくださり導いてくださる主の平安も受けられますよう 願います。

祝福します^^

＜ヨハネによる福音書 14章 27節＞

わたしは、平和をあなたがたに残し、わたしの平和を与える。私はこれを、世が与えるように与えるのではない。心を騒がせるな。おびえるな。”

(原文韓国語)

★＜祖母と桃＞

-チョ・ヒョジュ-

桃を見ると祖母を思い出す。

祖母は桃が本当に好きだった。幼い頃には桃は高価な果物だった。贈り物をいただいたり たまに桃を買ったりすると、祖母は大きく切って 孫たちの口に入れてやり、種のある方を自分の口に入れ、種だけが残る時まで もぐもぐと食べていた。

「おばあちゃんが大きい方を食べて」と言うと「私は種のあるところが好き」と言って……。

私は幼い頃、祖母と手をつないで 教会に通い始めた。祖母は 北朝鮮から避難してこられた方々が 開拓された 小さなテントで作られた教会に通っていた。祖母は 礼拝をささげながら御言葉の中で、賛美の中で、祈りの中でよく泣いていた。私は泣く祖母が 幼心にも気の毒で、私が何もしてあげられないのが 心痛かった。

戦争中 幼い年で 父の手を取り避難してきた祖母は、教会で礼拝をささげることが 唯一の安息の場だったかもしれない。私は祖母に似ている?

私も賛美しながら、祈りながら、よく涙が出る。私が泣く祖母に「おばあちゃん泣かないで」と言うと祖母は「泣いているのではなくて目がかすんで涙が出るんだよ」と言った。私も、私が泣くときに孫が「おばあちゃん泣かないで」と言ったら「泣いているのではなくて目がかすんで涙が出るんだよ」と同じ言葉を言うだろう。私が寝る前 いつも子守歌のように読んでくれた 祖母の聖書を読む声、その時に聞いた聖書のみ言葉が 私が生きてきたなかで どんなに大きな力となったか……。祖母は知ってるだろうか! 今そばにいてくれたら 毎日毎日 おいしい桃を買ってあげられるのに、祖母はいない。私にとっては 信仰の師であると同時に よき友でもあった祖母……温かかった祖母の胸が恋しい。(原文韓国語)

★みことばの力と恵みに感謝 ～日々の祈り～

-河礼子-

『希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい』ローマ 12:12

私の一日は、アシュラム運動が奨励する『み言葉の静聴と聴従』を実践する「レビの時」(祈りの時)から始まります。毎朝聖書のみ言葉を静かに聴く、「レビの時」を大切にしています。

目覚めると部屋のカーテンを開け、窓からの景色を眺めながら深呼吸をします。同じ景色も、自然は日々表情を変えるので、この瞬間を毎朝楽しみにしています。それから10分間の「朝の体操」を行い、窓辺に移動。「信徒の友」誌の日毎の糧、次に旧約聖書、詩編、福音書、パウロ書簡、J・ベイリー著「朝の祈り」の深い導きによって霊的に整えられていくことを実感します。そして、家族のため、教会のため、与えられた課題のため、職場で働く一人ひとり、困難を抱えた身近な方々のために名前をあげて、神さまが執り成してくださることを信じて祈ります。「レビの時」が、私の信仰生活に軽やかな喜びのリズムを伴い、どんなときも希望へと導かれる聖霊の働きを実感する日々となっていることに感謝しています。

私自身、常に鍛錬が必要な者ですから、日々の歩みがみ言葉に聴従する者でありたいと願い、神さまがすべての試練を良き実りとしてくださることを信じて歩みます。ハレルヤ！

「祈り」J.ベイリーの、『朝の祈り 夜の祈り』より

神よ、きょうわたしの生活をとりまくすべてのものを用いて、罪の実ではなしにきよい実を結ばせることを教えてください。

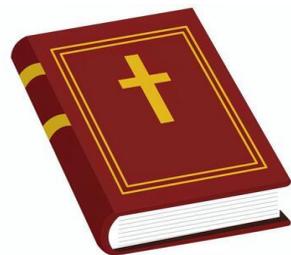
失望を、忍耐の契機として用い 成功を、感謝の契機として用い

不安を、不屈の契機として用い 危機を、勇気の契機として用い

非難を、忍苦の契機として用い 賞賛を、謙遜の契機として用い

娯楽を、節制の契機として用い

苦痛を、堅忍の契機として用いることができますように。



★ 主よ、わたしを救ってくださる神よ、御名をほめたたえます。

-辻ヴィヴィアナ-

今年は日本に来て20年になります。本当に一日一日早いです。

日本で主人と一緒にゼロから新しい生活をスタートしました。色々思いたすと神様に心から言います。天のお父さまありがとうございます。どんなときでも見捨てないで、見守ってくださってありがとうございます。私はなにもない、罪人で、神様の憐れみ、愛、恵み、もらうべきじゃないのに、それでもイエス・キリストの素晴らしい愛、私の支えです。

これからも感謝して、わたしたち一人ひとり神様の道歩めますように。イエス・キリストの福音信じますように、霊的に生きることができるようにお祈りします。

詩編 103章 1節

私のたましいよ、主をたたえよ。私の内にあるものはこそって聖なる御名をたたえよ。



♡♡ 箴言 3: 5-6

心を尽くして主に信頼し、自分の分別には頼らず 常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば主はあなたの道筋をまっすぐにしてください。

♡♡ 9月の女性会聖書勉強会は緊急事態宣言により中止になった事をお知らせします。

▶ 9/7(화) 10:00~11:00 고대한 전도사 성서: 룻기1:18 주제:「룻의 행동」

※ 中々終息出来ないコロナ渦の中で忍耐をもって、私に向けた神様の御心と御旨が何かを黙想する時間となりますようにお祈りします。

メール(mison3252@gmail.com)

教会あて TEL(075-311-5051)/ FAX(075-313-3778)、郵送など。

教育部・林美善まで。